

Atrust Package Creator v1.0.13

ユーザーズガイド

目次

第 1 章. 概要	2
1.1. はじめに	3
1.2. 改訂履歴	4
1.3. システム要件	5
1.3.1. サポートされるエンドポイントデバイス	5
1.3.2. サポートされるオペレーティングシステム	5
1.3.3. 事前準備	6
第 2 章. インストールとアンインストール	7
2.1. インストール	8
2.2. アンインストール	14
第 3 章. 使用方法	17
3.1. パッケージの作成	18
3.1.1. パッケージを作成する	18
3.1.2. 再起動後にインストール処理を継続するパッケージを作成する	33
3.1.3. CMO 端末エージェントインストールパッケージを作成する	35
3.2. ケーススタディ	44
第 4 章. 注意事項	51
4.1. 注意事項	52
4.2. 使用 OSS について	53

第 1 章. 概要

本章では、Atrust Package Creator の概要とシステム要件を記載しています。

1.1 はじめに

本書の説明、および Atrust Package Creator の紹介

1.2 改訂履歴

改訂履歴

1.3 システム要件

本ツールを使用する上でのシステム要件

1.1. はじめに

本書はシンクライアント管理者向けに記載された「Atrust Package Creator v1.0.13 ユーザーズガイド」です。

Atrust Package Creator では、シンクライアントを部分更新するための WES パッケージ(以降、パッケージと表記)を作成することができます。このツールによりシンクライアントのカスタマイズを簡単に実施することができます。

作成したパッケージは、Atrust Device Manager(ADM)を利用してシンクライアント端末へ配信、適用が可能です。

Atrust Device Manager(ADM)については以下のガイドをご参照ください。

Atrust Device Manager(ADM) マニュアル

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=3140108090>

Atrust Package Creator は本書に記載されている方法でご利用ください。記載されている方法以外での動作保証は致しません。

1.2. 改訂履歴

改訂履歴

改版	改訂年月日	改訂内容
1.0	2021/06/03	新規作成
2.0	2021/07/05	「3.1.3. CMO 端末エージェントインストールパッケージを作成する」 US320g 対応手順に更新 「4.1. 注意事項」 追加・修正

1.3. システム要件

Atrust Package Creator ツールのシステム要件を以下に記載します。

1.3.1. サポートされるエンドポイントデバイス

Atrust Package Creator は、以下のエンドポイントデバイスをサポートしています。

モデル：

- US310e (Windows Embedded 8 Standard)
- US320f (Windows 10 IoT Enterprise 2016 LTSC)
- US320g (Windows 10 IoT Enterprise 2019 LTSC)

1.3.2. サポートされるオペレーティングシステム

Atrust Package Creator は、以下の OS がインストールされている Windows マシンにインストールして使用することができます。

- Windows 8.1
- Windows 10
- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2016
- Windows Server 2019

1.3.3. 事前準備

事前に以下のモジュール、ガイドなどが準備できていることを確認してください。

- **Atrust Package Creator**

下記の WEB サイトから Atrust Package Creator のモジュールをダウンロードしてください。

<https://www.support.nec.co.jp/HWSelectModelKataban.aspx>

- **Atrust Package Creator v1.0.13 ユーザーズガイド**

本書です。

第 2 章. インストールとアンインストール

本章では、Atrust Package Creator のインストールとアンインストールについて記載しています。

2.1 インストール

Atrust Package Creator のインストール

2.2 アンインストール

Atrust Package Creator のアンインストール

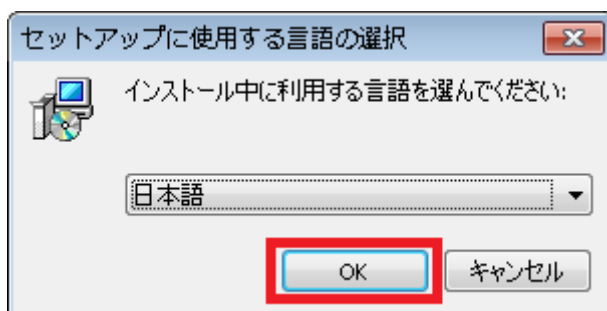
2.1. インストール



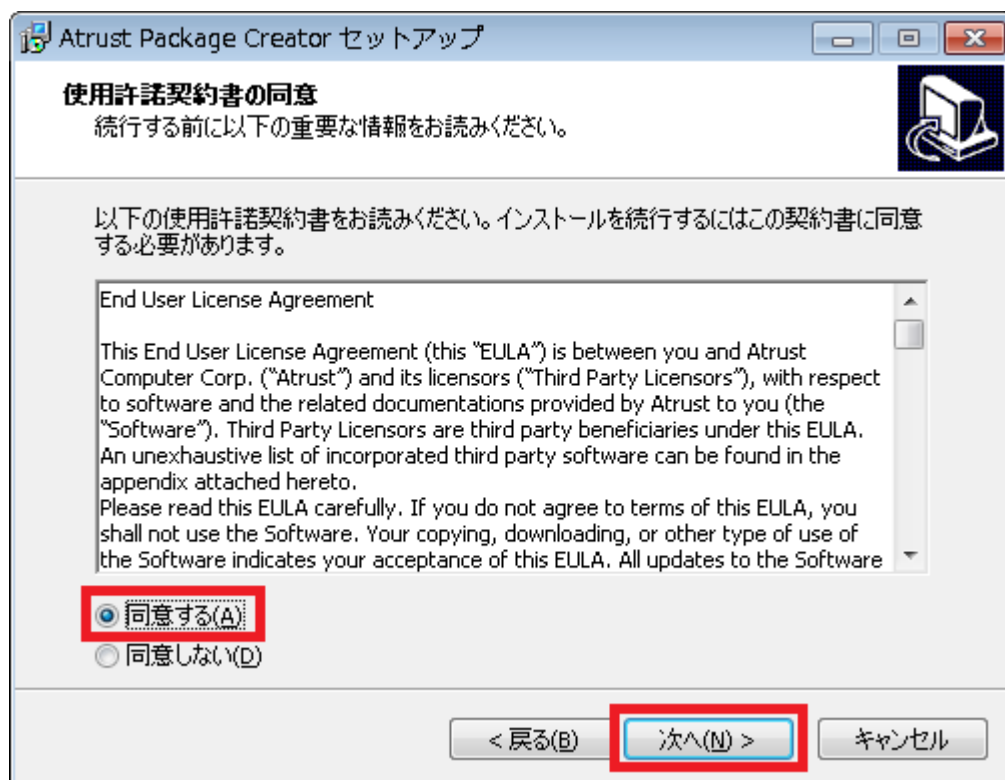
サポートされているオペレーティングシステムを使用していることを確認してください。サポートされているオペレーティングシステムについては本書の「第 1 章 1.3.2 サポートされているオペレーティングシステム」を参照してください。

コンピュータに Atrust Package Creator をインストールするには、以下の手順を実行してください。

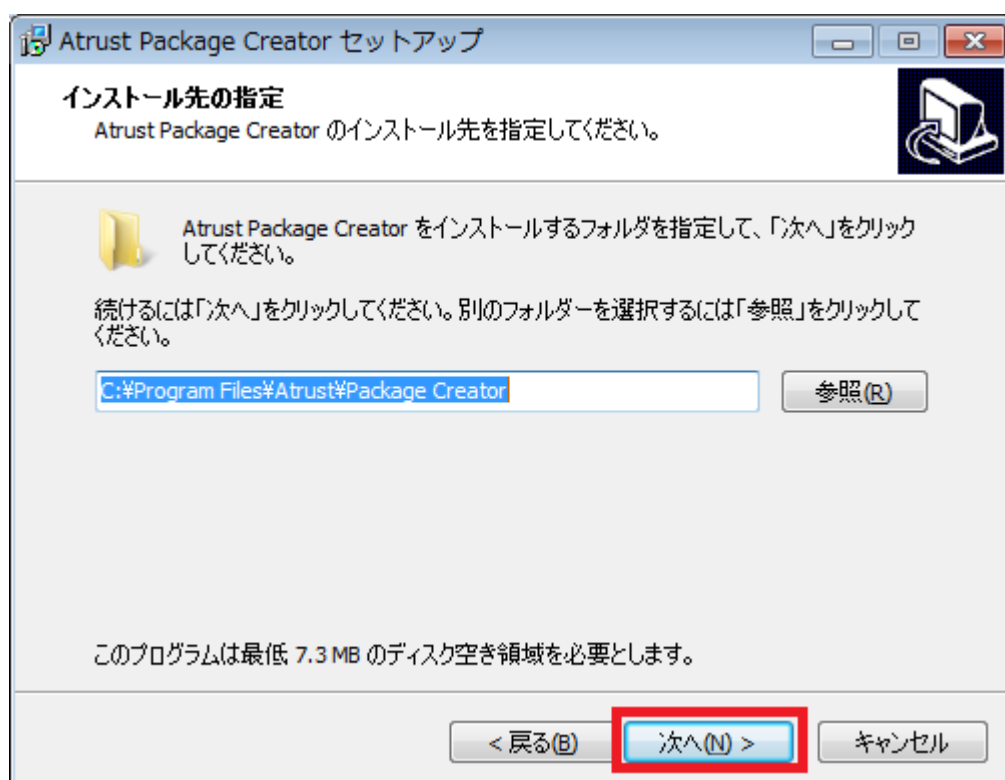
1. “AtrustPackageCreator-1.0.13-NEC.exe”モジュールをコンピュータ上で管理者として実行します。
ユーザーアカウント制御プロンプトが表示された場合は「はい」ボタンをクリックします。
2. セットアップに使用する言語を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



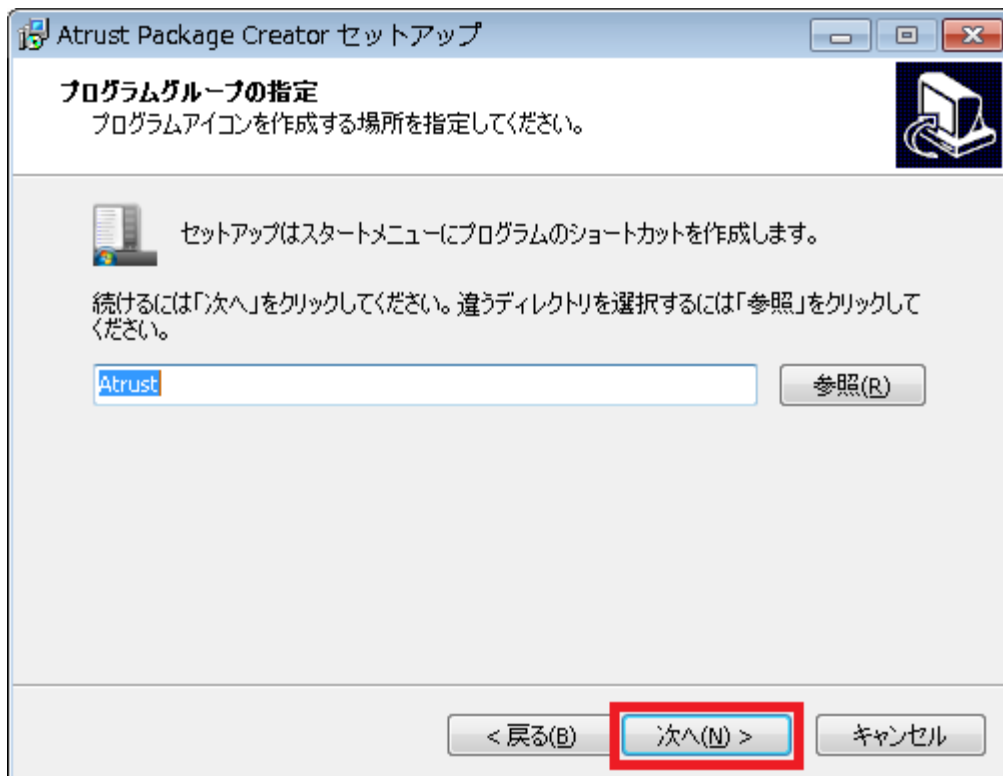
3. 「同意する」を選択し「次へ」ボタンをクリックします



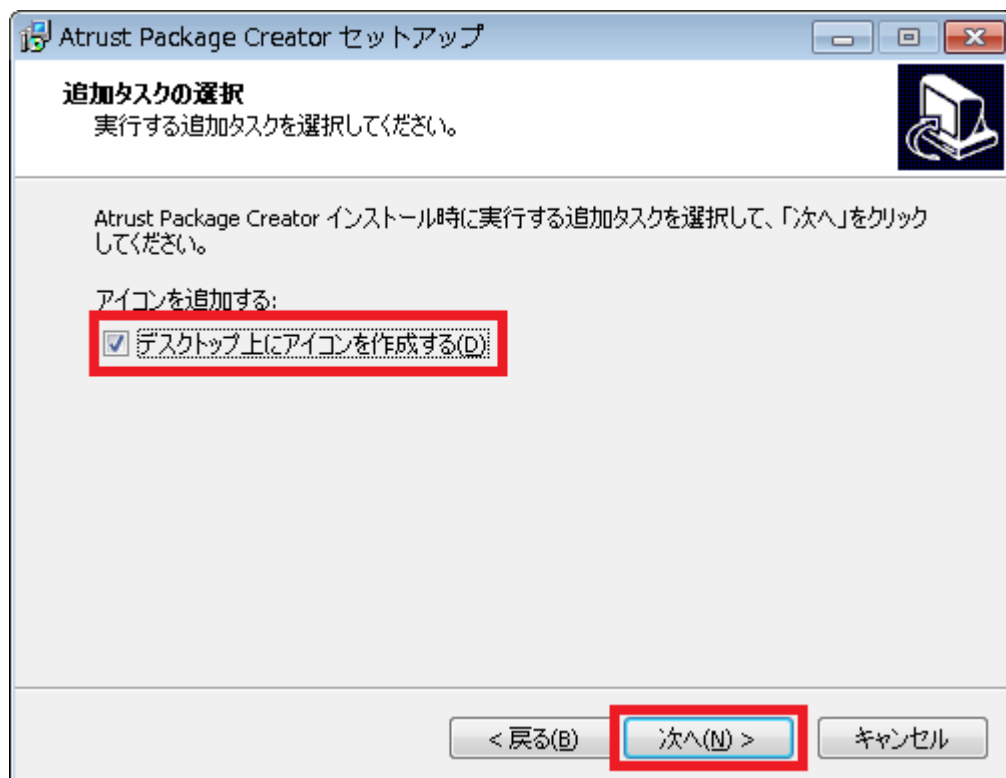
4. インストールフォルダを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。本書では既定の設定のままウィザードを進めます。



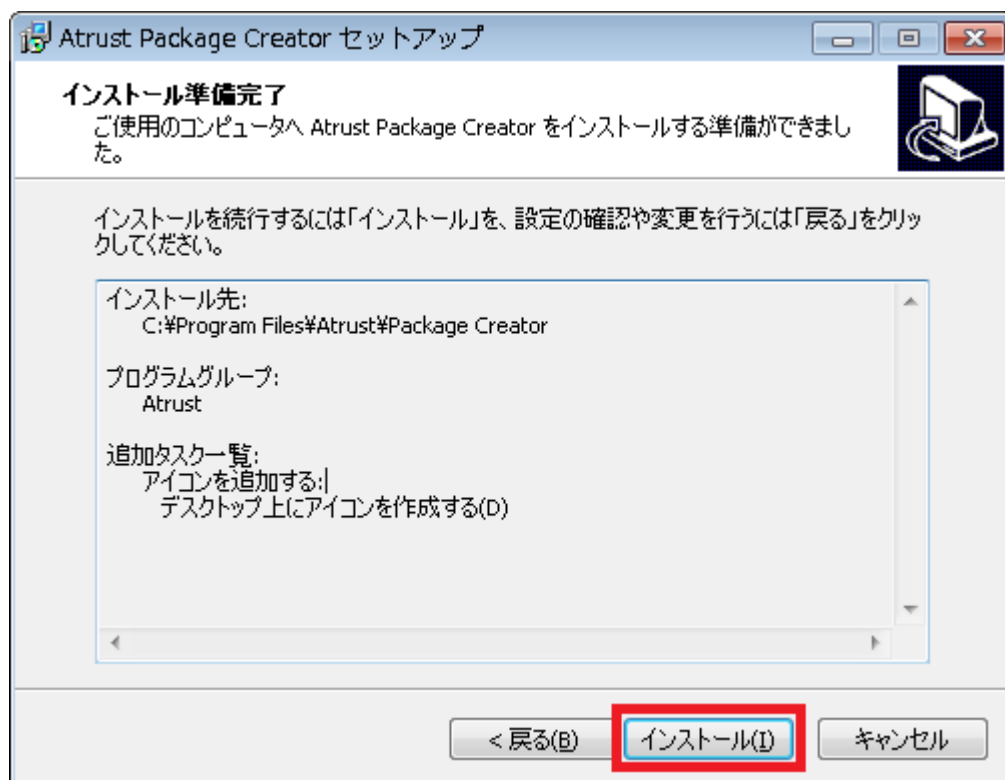
5. スタートメニューに作成するプログラムのショートカット作成先フォルダを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。本書では既定の設定のままウィザードを進めます。



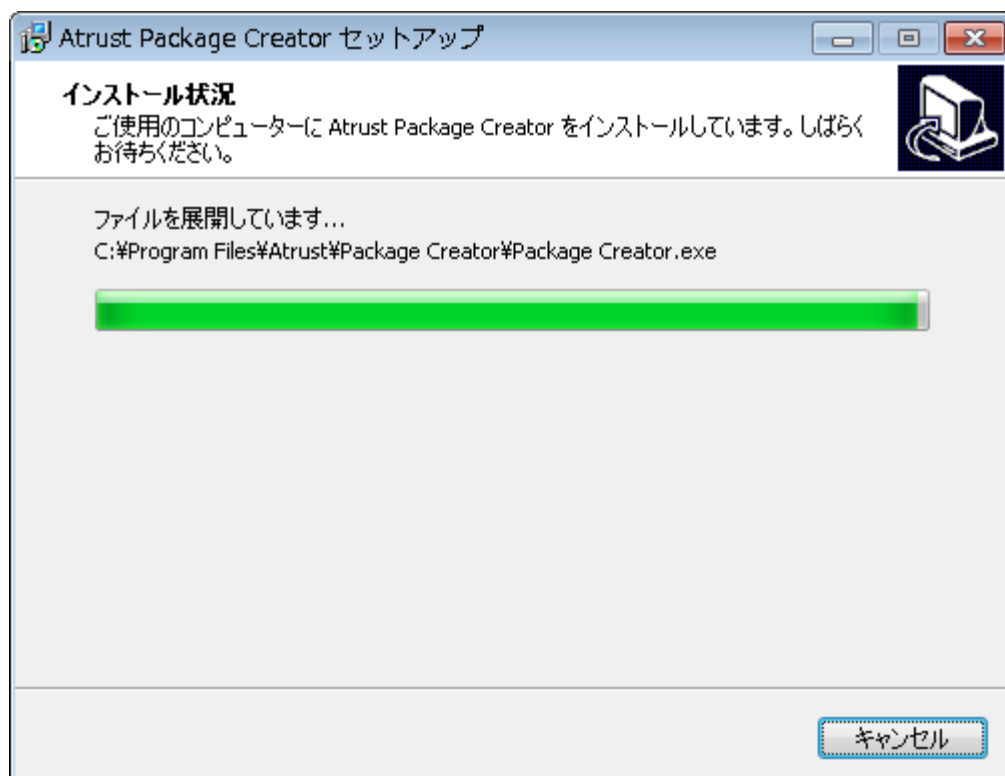
6. デスクトップにショートカットアイコンを作成する場合はオプションを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。
本書ではデスクトップにショートカットアイコンを作成します。



7. 「インストール」ボタンをクリックします。



8. インストールが開始されます。処理が完了するまでしばらくお待ちください。



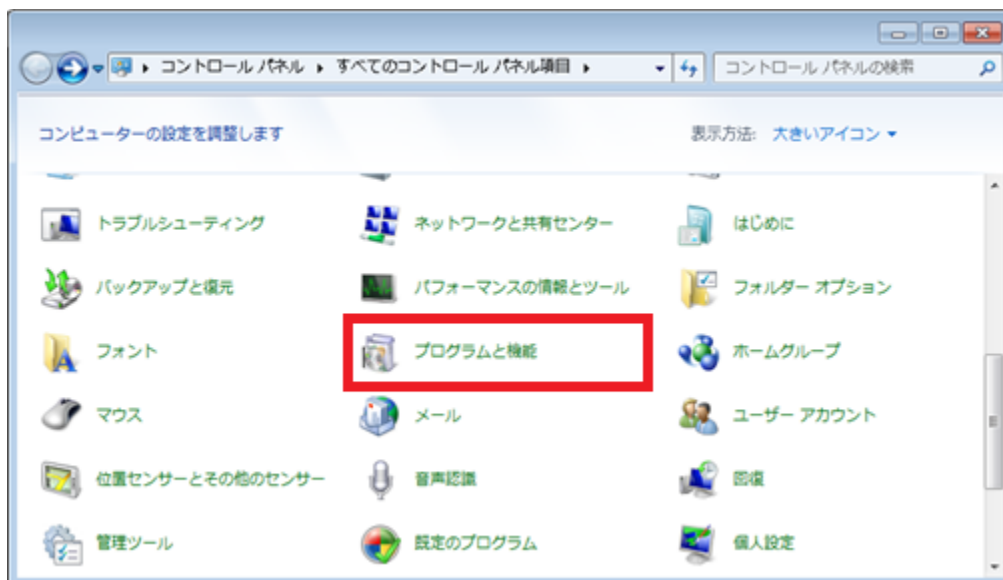
9. 「完了」ボタンをクリックし、セットアップウィザードを終了します。



2.2. アンインストール

コンピュータから Atrust Package Creator をアンインストールするには、以下の手順を実行してください。

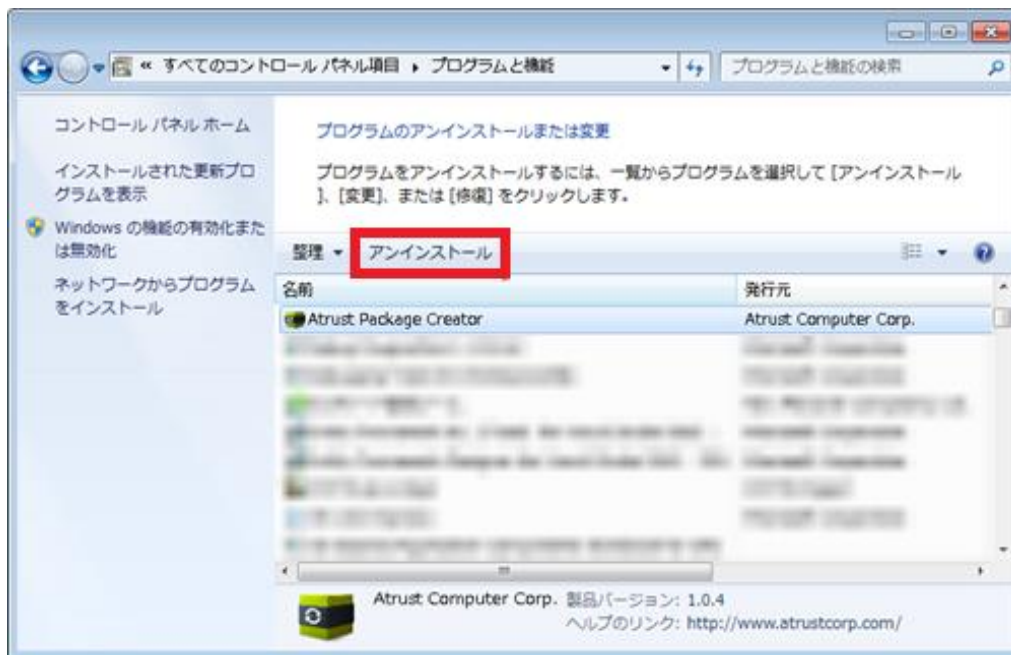
1. 「コントロールパネル」 - 「プログラムと機能」をクリックします。



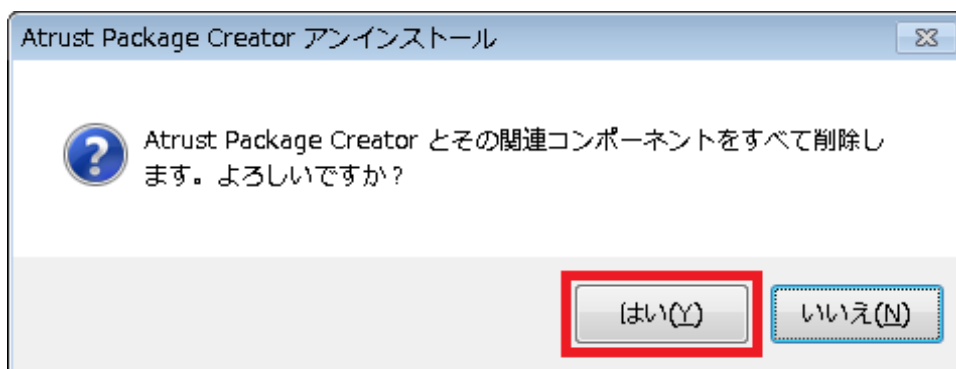
2. プログラムの一覧から“Atrust Package Creator”を選択します。



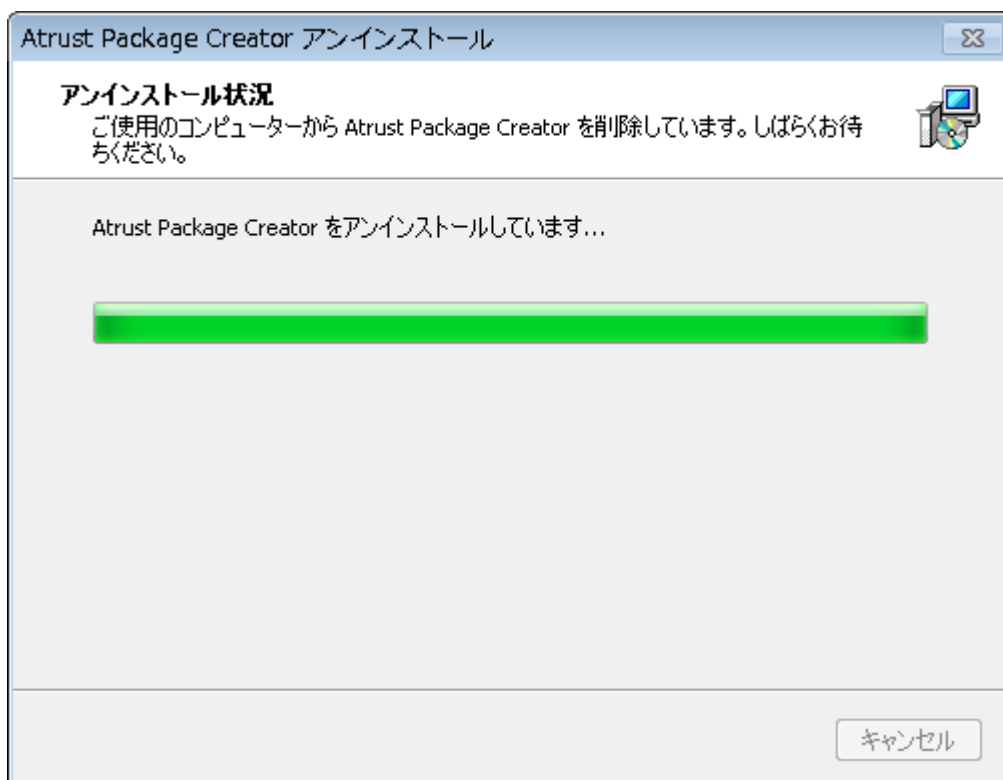
3. 「アンインストール」をクリックします。



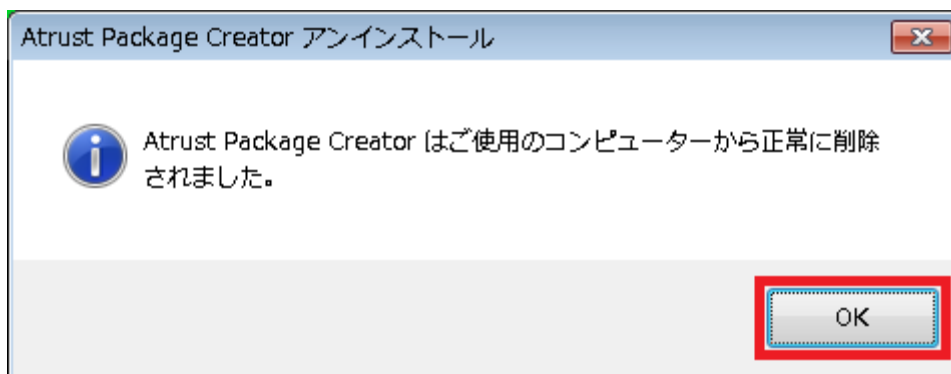
4. アンインストールの確認メッセージが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。



5. アンインストールが開始されるので、処理が終了するまでしばらくお待ちください。



6. 「OK」ボタンをクリックし、メッセージを終了します。



第 3 章. 使用方法

本章では、Atrust Package Creator の使用方法について記載しています。

3.1 パッケージの作成

Atrust Package Creator でのパッケージ作成手順

3.2 ケーススタディ

インストールモジュールを実行するパッケージの作成例

3.1. パッケージの作成

3.1.1. パッケージを作成する

パッケージを作成するには、以下の手順を実行してください。

1. Atrust Package Creator を管理者として実行します。
2. 「次へ」 ボタンをクリックします。



3. パッケージ情報を入力します。*がついたフィールドは入力必須です。入力完了後、「次へ」ボタンをクリックします。

入力フィールド	
名称	説明
パッケージ名	パッケージの名称を入力します。 Atrust Device Manager(ADM)のパッケージ一覧に表示されます。
概要	パッケージの説明を入力します。
発行者	パッケージの発行者を入力します。
カテゴリー	パッケージのカテゴリーを入力します。 Atrust Device Manager(ADM)のパッケージ一覧に表示されます。
バージョン	パッケージのバージョンを入力します。 Atrust Device Manager(ADM)のパッケージ一覧に表示されます。
日付	日付情報を入力します。
サイズ	パッケージのファイルサイズを入力します。



サイズの入力値は、実際のファイルサイズと一致させる必要はありませんが、インストール時の空き容量の確認で使います。

4. パッケージインストールのシステム要件を入力します。*がついたフィールドは入力必須です。プラットフォームブ
ルダウンからシンククライアント端末のプラットフォームを選択、「追加」ボタンをクリックし、[モデル]フィール
ドにシンククライアント端末のモデルを追加します。入力完了後、「次へ」ボタンをクリックします。

入力フィールド	
名称	説明
プラットフォーム	パッケージをインストールできるシンククライアント端末のプラットフォームを選択します。
モデル	<p>パッケージをインストールできるシンククライアント端末のモデルを選択します。</p> <p>選択したプラットフォームによってモデルが変わります。</p> <p>Windows Embedded 8 Standard を選択した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ US310e <p>Windows 10 IoT Enterprise 2016 LTSC を選択した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ US320f <p>Windows 10 IoT Enterprise 2019 LTSC を選択した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ US320g
ファームウェアバージョン	入力したバージョン以上のファームウェアをインストールしたシンククライアント端末にパッケージをインストールできます。
必要な空き容量	<p>パッケージのインストールを実行する空き容量の最小値を指定します。</p> <p>空き容量チェックが不要の場合、「0」を設定します。</p>



「新規作成」ボタンをクリックすると、オプション設定をスキップし、パッケージの作成を開始します。

5. インストールオプションを設定します。設定完了後、「次へ」ボタンをクリックします。



インターフェイス概要	
名称	説明
インストール完了後にシステムを再起動する。	インストール完了後システムを再起動させる場合にチェックを付けます。
インストール完了後にライトフィルターを有効にする。	インストール完了後ライトフィルターを有効にする場合にチェックを付けます。[インストール完了後にシステムを再起動する。]を有効にした場合に選択できます。
インストールが指定時間を超えた時に警告メッセージを表示する。	インストールが指定した秒数を経過した時にシンクライアント端末へ警告メッセージを表示させる場合、チェックを付けます。警告メッセージが表示されてもインストールは中断しません。

6. インストール時に編集するレジストリを設定します。項目を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

a) インストール時にレジストリを編集しない場合

[レジストリを編集しない]を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



b) レジストリファイル(.reg)をインポートする場合

[レジストリファイル(.reg)でレジストリをインポートする]を選択し、「参照」ボタンをクリックします。

レジストリファイルを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



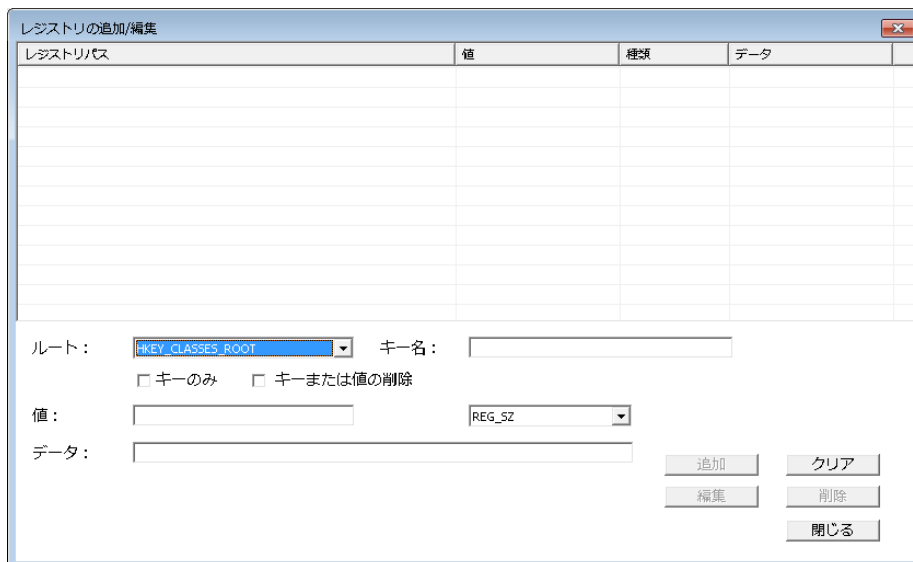
c) 編集するレジストリを直接指定する場合

[手動でレジストリを追加/編集する]を選択し、「追加/編集」ボタンをクリックします。



レジストリの追加/編集画面が開きます。

ルート、キー名、値、データを入力し、追加/編集するレジストリを入力します。入力後、「追加」ボタンをクリックします。

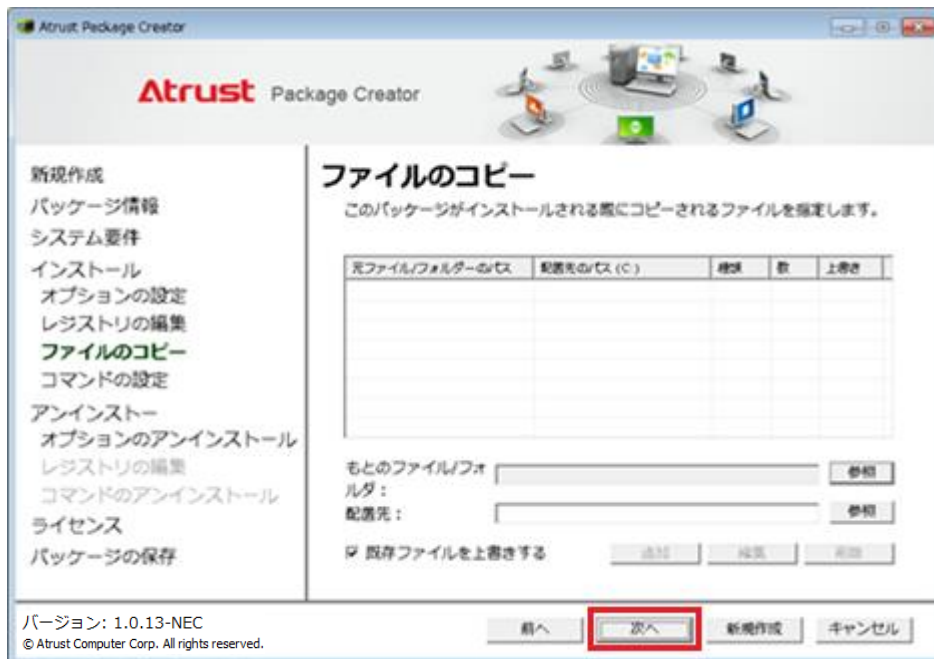


インターフェイス概要

名称	説明
ルート	編集するレジストリのルートを指定します。
キー名	レジストリキーを入力します。
キーのみ	レジストリキーのみ編集する場合、チェックを付けます。

キーまたは値の削除	指定したレジストリを削除する場合、チェックを付けます。
値	レジストリの値を入力し、値の種類をプルダウンから選択します。 レジストリキーのみ編集する場合は入力不要です。
データ	レジストリのデータを入力します。 レジストリキーのみ編集する場合は入力不要です。
「追加」ボタン	入力したレジストリ設定を一覧に追加します。
「クリア」ボタン	入力したレジストリ設定を初期化します。
「編集」ボタン	一覧で選択したレジストリ設定を入力したレジストリ設定に更新します。
「削除」ボタン	一覧で選択したレジストリ設定を一覧から削除します。
「閉じる」ボタン	レジストリの追加/編集画面を閉じます。

7. インストール時にコピーするファイルを設定します。設定後、「次へ」ボタンをクリックします。インストール時にファイルのコピーが不要の場合、何も設定せず「次へ」ボタンをクリックします。



インターフェイス概要

名称	説明
もとのファイル/フォルダ	「参照」ボタンをクリックし、コピー元のファイルまたはフォルダを指定します。フォルダを指定した場合、フォルダ配下のファイル/フォルダもコピーします。
配布先	シンクライアント端末でのコピー先を指定します。
既存ファイルを上書きする	コピー先に同名ファイルが存在する場合、上書きするにはチェックを付けます。
「追加」ボタン	入力したファイル情報を一覧に追加します。
「編集」ボタン	一覧で選択したファイル情報を入力したファイル情報に更新します。
「削除」ボタン	一覧で選択したファイル情報を一覧から削除します。

8. インストール時に実行するプログラムまたはコマンドを設定します。プログラムはサイレントモードで実行する必要があります。設定後、「次へ」ボタンをクリックします。インストール時にプログラムまたはコマンドの実行が不要の場合、何も設定せず「次へ」ボタンをクリックします。



インターフェイス概要	
名称	説明
コピーして実行	パッケージからプログラムをコピーし、シンククライアント端末で実行する場合に選択します。
絶対パス(C:)	シンククライアント端末内のプログラムを実行する場合に選択します。 本設定を選択した場合「プログラム名」に指定する値は、シンククライアント端末に格納されているプログラムのファイルパスを入力します。
プログラム名	プログラムまたはコマンドを入力します。
パラメーター	プログラムまたはコマンドのパラメーターを入力します。
戻り値を確認	チェックを付けた場合、プログラムまたはコマンドの戻り値を確認し、指定した戻り値と異なる場合にはパッケージのインストールを中断します。
「追加」ボタン	入力したプログラムまたはコマンドを一覧に追加します。
「編集」ボタン	一覧で選択したプログラムまたはコマンドを入力したプログラムまたはコマンドに更新します。
「削除」ボタン	一覧で選択したプログラムまたはコマンドを一覧から削除します。
「▲」ボタン	一覧で選択したプログラムまたはコマンドの実行順序を上げます。
「▼」ボタン	一覧で選択したプログラムまたはコマンドの実行順序を下げます。

9. 配信したパッケージをアンインストール可能にするには、アンインストールオプションを設定します。アンインストールオプションを有効にするには、[パッケージのアンインストール機能を有効にする]にチェックを付けます。設定後、「次へ」ボタンをクリックします。



インターフェイス概要	
名称	説明
パッケージのアンインストール機能を有効にする。	アンインストール時に処理を実行する場合にチェックを付けます。 このオプションを有効にすることで、Atrust Device Manager(ADM)またはコントロールパネルより手順 10, 11 のアンインストール処理を実行することが可能になります。
アンインストール完了後にシステムを再起動する。	アンインストール完了後システムを再起動させる場合にチェックを付けます。
アンインストール完了後にライトフィルタを有効にする。	アンインストール完了後ライトフィルタを有効にする場合にチェックを付けます。[アンインストール完了後にシステムを再起動する。]を有効にした場合に選択できます。
アンインストールが指定時間を超えた時に警告メッセージを表示する。	アンインストールが指定した秒数を経過した時にシンクライアント端末へ警告メッセージを表示させる場合、チェックを付けます。警告メッセージが表示されてもアンインストールは中断しません。



「パッケージのアンインストール機能を有効にする。」にチェックを付けていない場合、Atrust Device Manager(ADM)ではアンインストール一覧に表示されますが、実行しても何も処理されません。

10. アンインストール時に編集するレジストリを設定します。項目を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

a) アンインストール時にレジストリを編集しない場合

[レジストリを編集しない]を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



b) レジストリファイル(.reg)をインポートする場合

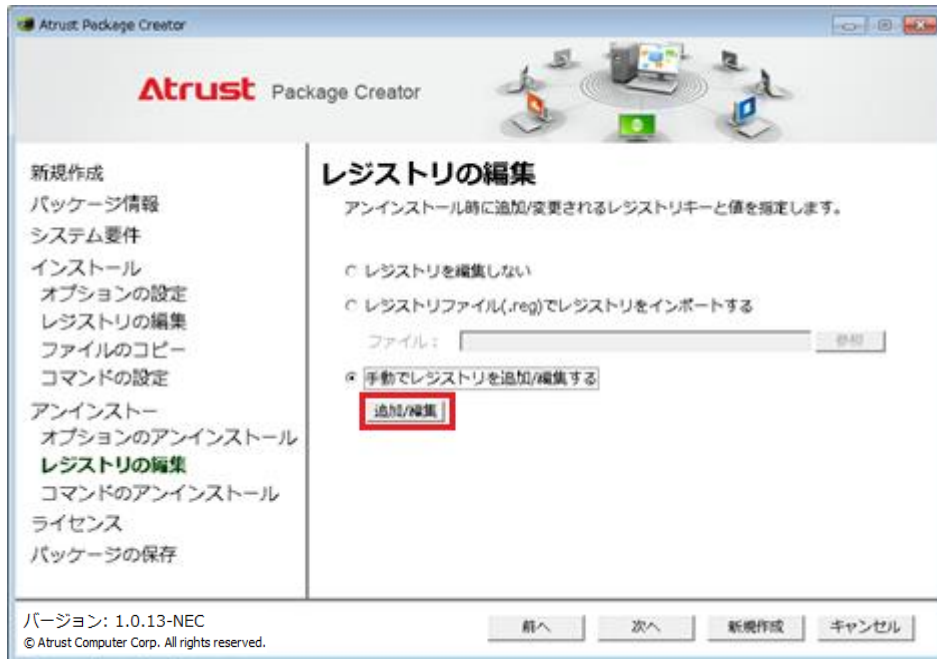
[レジストリファイル(.reg)でレジストリをインポートする]を選択し、「参照」ボタンをクリックします。

レジストリファイルを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



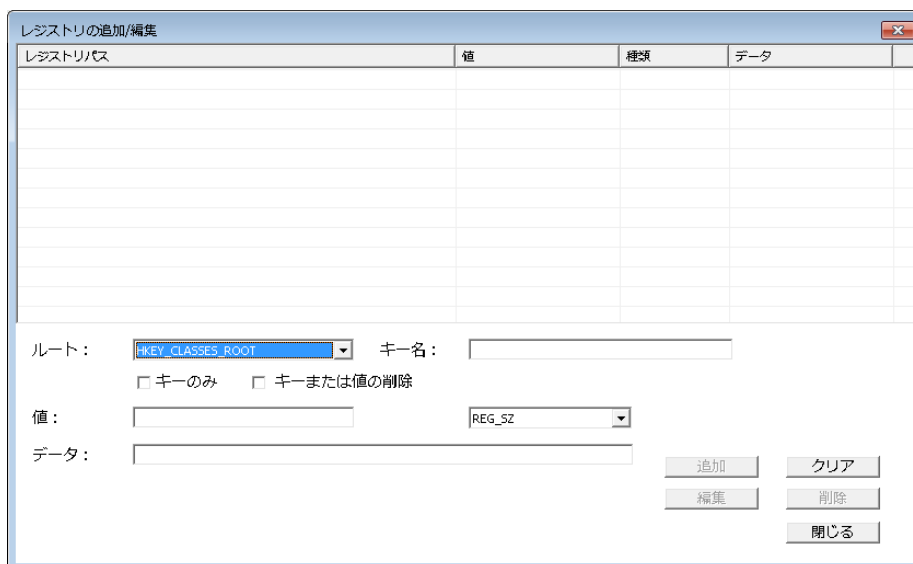
c) 編集するレジストリを直接指定する場合

[手動でレジストリを追加/編集する]を選択し、「追加/編集」ボタンをクリックします。



レジストリの追加/編集画面が開きます。

ルート、キー名、値、データを入力し、追加/編集するレジストリを設定します。入力後、「追加」ボタンをクリックします。

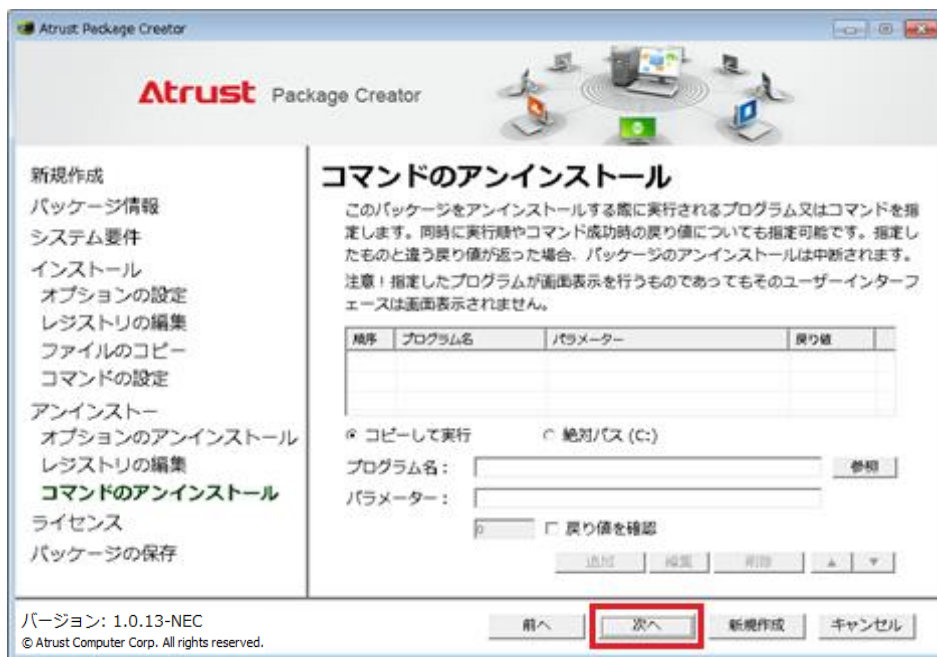


インターフェイス概要

名称	説明
ルート	編集するレジストリのルートを指定します。
キー名	レジストリキーを入力します。
キーのみ	レジストリキーのみ編集する場合、チェックを付けます。

キーまたは値の削除	指定したレジストリを削除する場合、チェックを付けます。
値	レジストリの値を入力し、値の種類をプルダウンから選択します。 レジストリキーのみ編集する場合は入力不要です。
データ	レジストリのデータを入力します。 レジストリキーのみ編集する場合は入力不要です。
「追加」ボタン	入力したレジストリ設定を一覧に追加します。
「クリア」ボタン	入力したレジストリ設定を初期化します。
「編集」ボタン	一覧で選択したレジストリ設定を入力したレジストリ設定に更新します。
「削除」ボタン	一覧で選択したレジストリ設定を一覧から削除します。
「閉じる」ボタン	レジストリの追加/編集画面を閉じます。

11. アンインストール時に実行するプログラムまたはコマンドを設定します。プログラムはサイレントモードで実行する必要があります。設定後、「次へ」ボタンをクリックします。アンインストール時にプログラムまたはコマンドの実行が不要の場合、何も設定せず「次へ」ボタンをクリックします。



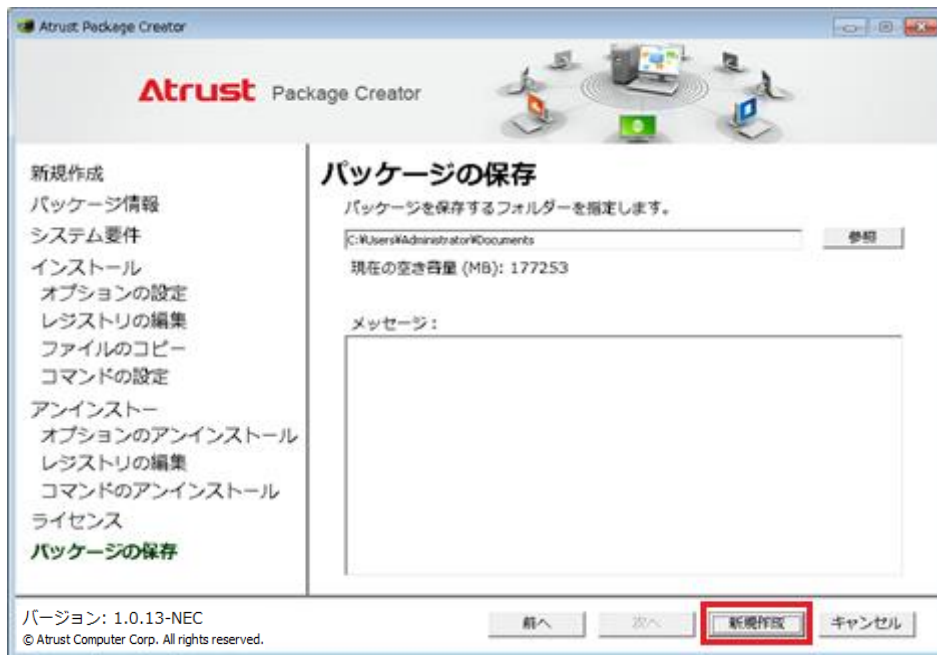
インターフェイス概要	
名称	説明
コピーして実行	パッケージからプログラムをコピーし、シンククライアント端末で実行する場合に選択します。
絶対パス(C:)	シンククライアント端末内のプログラムを実行する場合に選択します。 本設定を選択した場合「プログラム名」に指定する値は、シンククライアント端末内に格納されているプログラムのファイルパスを入力します。
プログラム名	プログラムまたはコマンドを入力します。

パラメーター	プログラムまたはコマンドのパラメーターを入力します。
戻り値を確認	チェックを付けた場合、プログラムまたはコマンドの戻り値を確認し、指定した戻り値と異なる場合にはパッケージのアンインストールを中断します。
「追加」ボタン	入力したプログラムまたはコマンドを一覧に追加します。
「編集」ボタン	一覧で選択したプログラムまたはコマンドを入力したプログラムまたはコマンドに更新します。
「削除」ボタン	一覧で選択したプログラムまたはコマンドを一覧から削除します。
「▲」ボタン	一覧で選択したプログラムまたはコマンドの実行順序を上げます。
「▼」ボタン	一覧で選択したプログラムまたはコマンドの実行順序を下げます。

12. ライセンス条項を記載したテキストファイル(ライセンスファイル)など、パッケージに同梱するテキストファイルを設定します。「参照」ボタンをクリックし、ファイルを選択します。設定後、「次へ」ボタンをクリックします。ファイルの同梱が不要の場合、何も設定せず「次へ」ボタンをクリックします。

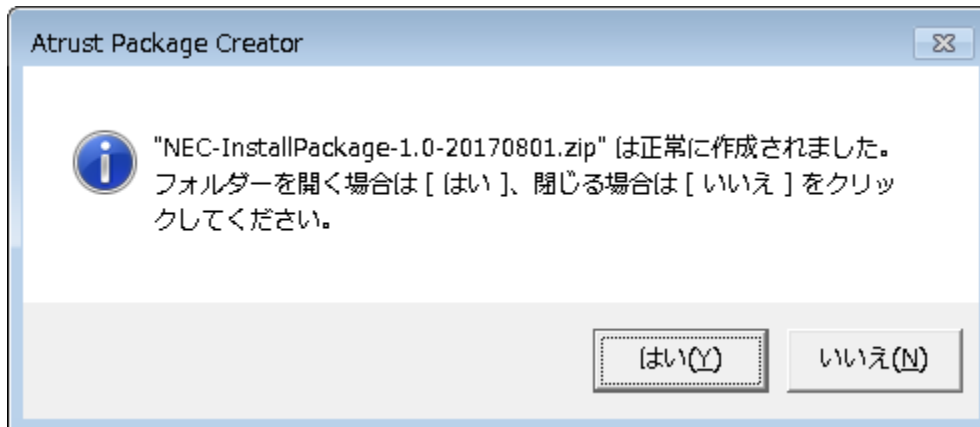


13. パッケージファイルの保存先を設定します。保存先を変更する場合、「参照」ボタンをクリックし保存先を選択します。「新規作成」ボタンをクリックし、パッケージ作成を開始します。



14. パッケージ作成完了後、以下の確認ダイアログが表示されます。

パッケージの保存先を表示するには「はい」ボタンをクリックします。元画面の「キャンセル」ボタンをクリックし、Atrust Package Creator を終了します。



以上でパッケージ作成が完了になります。Atrust Device Manager(ADM)にパッケージを登録し、シンクライアント端末へ配信してください。

3.1.2. 再起動後にインストール処理を継続するパッケージを作成する

マイクロソフト セキュリティ更新プログラムなどインストール中に再起動を必要とするモジュールをインストールするパッケージの作成方法を記載します。記載のないオプションについては、用途に合わせて任意に設定します。



インストール中に 1 回だけ再起動を必要とする場合に限り対応可能です。
2 回以上再起動を必要とする場合は対応できません。

1. 空のテキストファイルを作成し、「PKFBWFRESET」とリネームします。
2. 空のテキストファイルを作成し、「setLang.bat」とリネームします。

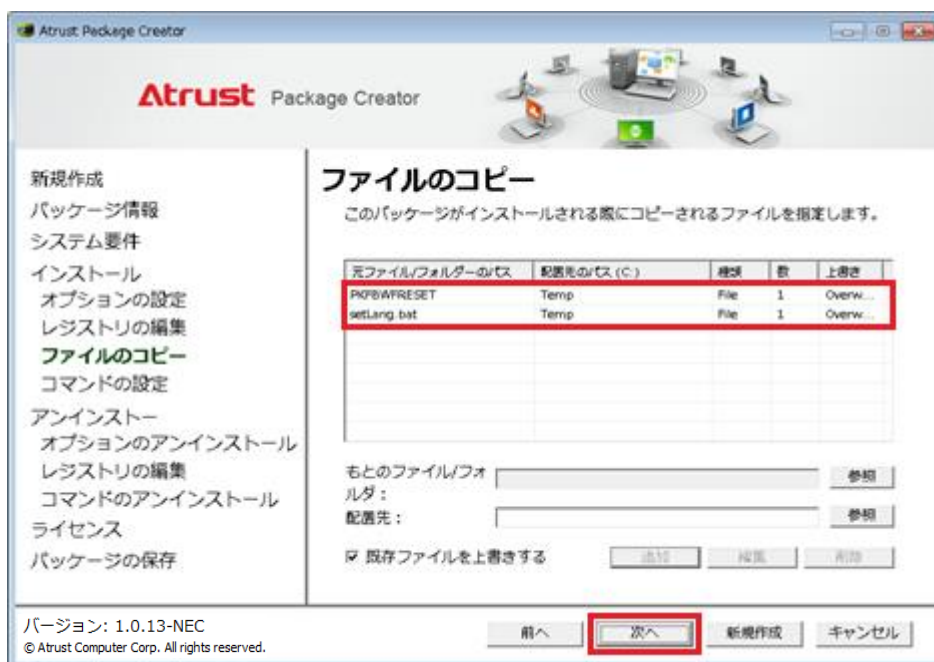


再起動後に実行したいコマンドを setLang.bat に登録できます。

3. インストールオプションを設定する際に[インストール完了後にシステムを再起動する。]にチェックを付けます。
[インストール完了後にライトフィルターを有効化する。]からチェックを外します。設定後、「次へ」ボタンをクリックします。ここで[インストール完了後にライトフィルターを有効化する。]からチェックを外しますが、パッケージ適用後、ライトフィルターが有効になります。



4. インストール時のファイルのコピー画面にて、手順 1.、手順 2. で作成した「PKFBWFRESET」と「setLang.bat」を[C:¥Windows¥Temp¥]へコピーします。用途に合わせて他のファイルをコピーしても構いません。設定後、「次へ」ボタンをクリックします。



3.1.3. CMO 端末エージェントインストールパッケージを作成する

CMO 端末エージェントを US320g, US320f および US310e へインストールするパッケージを作成するには、以下の手順を実行してください。

※「CMO」は、「VirtualPCCenter クライアント管理オプション」の略称です。

【事前準備】

Atrust Package Creator では、インストールプログラムはサイレントモードで実行する必要がありますが、CMO 端末エージェントのサイレントインストールを行うためには、インストール設定ファイル「TerminalAgent.ini」を事前に準備しておく必要があります。

詳細は、VirtualPCCenter クライアント管理オプションのインストレーションガイドを参照ください。

1. CMO 端末エージェントの CD-ROM から「Terminal¥TerminalAgent」に格納されている 3 つのファイルを Atrust Package Creator を実行するコンピューターの任意のフォルダ(本書では、C:¥CMO_6.2_JPN)にコピーします。
 - CMO TerminalAgent.msi
 - Data1.cab
 - setup.exe
2. 任意のコンピューターに CMO 端末エージェントをインストールします。インストール先フォルダに作成される TerminalAgent.ini を事前準備 1. で準備したフォルダにコピーします。

【作成手順】

1. Atrust Package Creator を管理者として実行します。
2. パッケージ情報を入力します。本書ではパッケージ名に「CMO6200_JP」、発行者に「NEC」、カテゴリに「Application」、サイズに「10」を設定し、「次へ」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the Atrust Package Creator application window. The title bar reads 'Atrust Package Creator'. The main window has a sidebar on the left with a list of steps: 新規作成, パッケージ情報 (selected), システム要件, インストール, オプションの設定, レジストリの編集, ファイルのコピー, コマンドの設定, アンインストール, オプションのアンインストール, レジストリの編集, コマンドのアンインストール, ライセンス, and パッケージの保存. The main area is titled 'パッケージ情報' and contains several input fields, each with a red asterisk indicating it is required. The fields are: パッケージ名 (Package Name) with value 'CMO6200_JP', 概要 (Description) which is empty, 発行者 (Publisher) with value 'NEC', カテゴリ (Category) with value 'Application', バージョン (Version) with values '1' and '0', 日付 (Date) with dropdowns for year (2017), month (12), and day (21), and サイズ (MB) (Size in MB) with value '10'. At the bottom, there are four buttons: 前へ (Previous), 次へ (Next, highlighted with a red box), 新規作成 (New), and キャンセル (Cancel). The bottom status bar shows 'バージョン: 1.0.13-NEC' and '© Atrust Computer Corp. All rights reserved.'

3. システム要件を入力します。必要な空き容量に「10」を設定し、「次へ」ボタンをクリックします。

US320g の場合 :

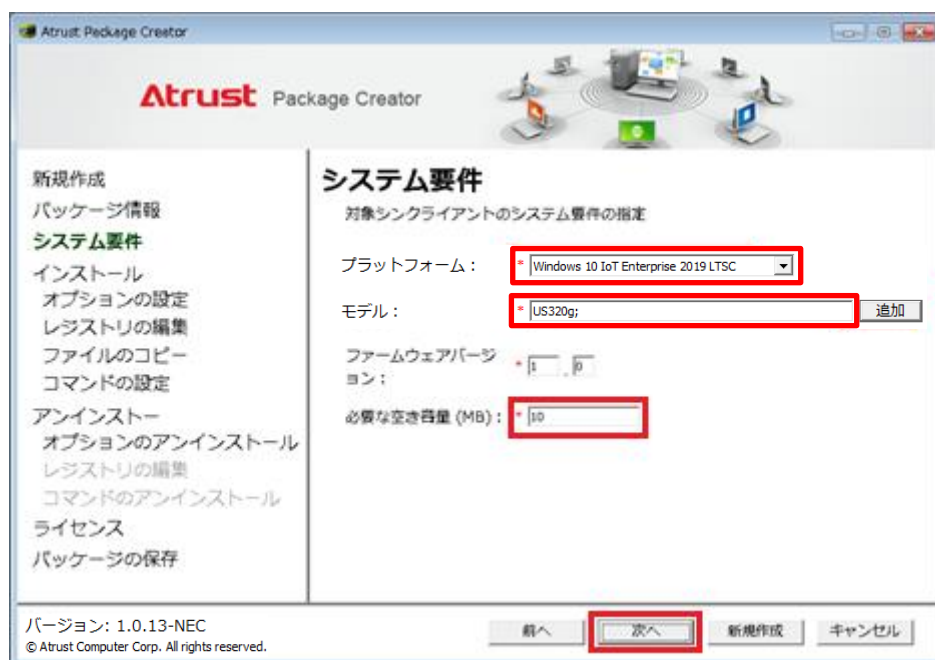
プラットフォームプルダウンから“Windows 10 IoT Enterprise 2019 LTSC” を選択、「追加」ボタンをクリックし、US320g を追加します。

US320f の場合 :

プラットフォームプルダウンから “Windows 10 IoT Enterprise 2016 LTSC” を選択、「追加」ボタンをクリックし、US320f を追加します。

US310e の場合 :

プラットフォームプルダウンから “ Windows Embedded 8 Standard” を選択、「追加」ボタンをクリックし、US310e を追加します。



4. インストールオプションを設定します。[インストール完了後にシステムを再起動する。]と[インストール完了後にライトフィルターを有効化する。]にチェックをつけ、「次へ」ボタンをクリックします。



5. インストール時に編集するレジストリを設定します。[レジストリを編集しない]を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



6. インストール時にコピーするファイルを設定します。事前準備 1, 2 で準備した 4 つのファイルを追加し、「次へ」ボタンをクリックします。



もとのファイル/フォルダ

- CMO TerminalAgent.msi
- Data1.cab
- setup.exe
- TerminalAgent.ini

配置先

- シンククライアント端末上での任意のパスを設定します。本書では「C:¥CMO」を設定しています。



[配置先]に指定したフォルダが存在しない場合は、自動的に作成されます。
4 つのファイルの[配置先]には、同じパスを設定します。
[配置先]のフォルダパスにスペースを含めないでください。

7. インストール時に実行するプログラムを設定します。以下を入力後「追加」ボタンをクリックし、一覧に登録します。一覧に登録後、「次へ」ボタンをクリックします。



- [絶対パス(C:)]を選択します。
- [プログラム名]に「手順 7. で設定した配置先¥setup.exe」(本書では「C:¥CMO¥setup.exe」)を設定します。
- [パラメーター]に「/s /v "/>

下記(a) (b) (c)を設定する場合、以下のオプションを追加できます。複数追加する場合は、オプションをスペースで区切ります。

(a) CMO 端末エージェントのショートカットをデスクトップへ作成しない場合

```
/s /v"/qn DESKTOPICON=no"
```

※オプション指定なしの場合、ショートカットがデスクトップへ作成されます。

(b) CMO 端末エージェントをスタートアップへ登録しない場合

```
/s /v"/qn STARTUP=no"
```

※オプション指定なしの場合、スタートアップへ登録されます。

(c) 仮想 PC へシングルサインオンで接続する場合

```
/s /v"/qn SSOMODE=1"
```

※オプション指定なしの場合、シングルサインオンは使用しません。

8. アンインストールオプションを設定します。[パッケージのアンインストール機能を有効にする]、[アンインストール完了後にシステムを再起動する。]、[アンインストール完了後にライトフィルターを有効化する。]にチェックをつけ、「次へ」ボタンをクリックします。



9. アンインストール時に編集するレジストリを設定します。[レジストリを編集しない]を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



10. アンインストール時に実行するプログラムまたはコマンドを設定します。以下を入力後「追加」ボタンをクリックし、一覧に登録します。一覧に登録後、「次へ」ボタンをクリックします。

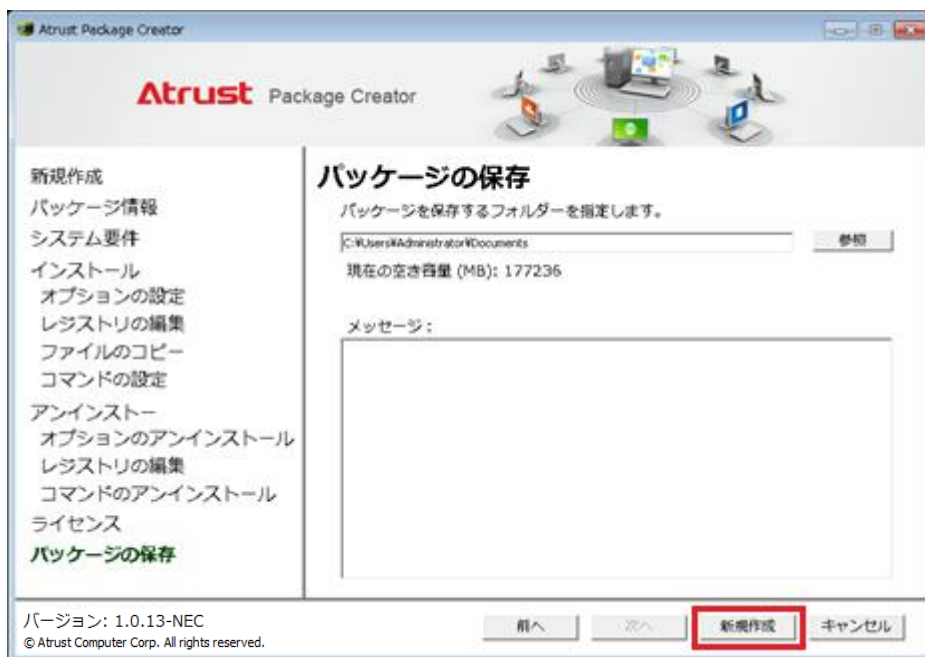
- [絶対パス(C:)]を選択します。
- [プログラム名]に「手順 7. で設定した配置先¥setup.exe」(本書では「C:¥CMO¥setup.exe」)を設定します。
- [パラメーター]に「/x /s /v/qn」を設定します。



11. ライセンス条項を記載したテキストファイルを設定します。何も設定せず「次へ」ボタンをクリックします。

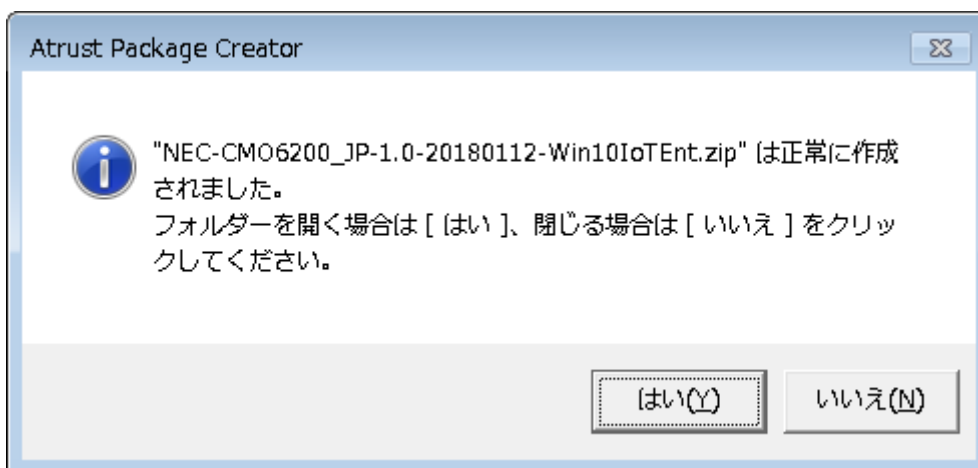


12. パッケージファイルの保存先を設定します。「新規作成」ボタンをクリックし、パッケージの作成を開始します。



13. パッケージ作成完了後、確認ダイアログが表示されます。

パッケージの保存先を表示するには「はい」ボタンをクリックします。元画面の「キャンセル」ボタンをクリックし、Atrust Package Creator を終了します。



3.2. ケーススタディ

US320g でインストールモジュール(install.msi)を実行するパッケージの作成例を紹介します。

1. パッケージ情報を入力します。ここではパッケージ名に「InstallPackage」、発行者に「NEC」、カテゴリーに「Package」、サイズに「10」を設定し、「次へ」ボタンをクリックします。

Atrust Package Creator

新規作成

パッケージ情報

システム要件

インストール

オプションの設定

レジストリの編集

ファイルのコピー

コマンドの設定

アンインストール

オプションのアンインストール

レジストリの編集

コマンドのアンインストール

ライセンス

パッケージの保存

パッケージ情報

パッケージ名: * InstallPackage

概要:

発行者: * NEC

カテゴリー: * Package

バージョン: * 1.0

日付: * 2017 11 22

サイズ (MB): * 10

バージョン: 1.0.13-NEC
© Atrust Computer Corp. All rights reserved.

前へ 次へ 新規作成 キャンセル

2. システム要件を入力します。プラットフォームプルダウンから“Windows 10 IoT Enterprise 2019 LTSC”を選択します。「追加」ボタンをクリックし、US320g を追加したら「次へ」ボタンをクリックします。

Atrust Package Creator

新規作成

パッケージ情報

システム要件

インストール

オプションの設定

レジストリの編集

ファイルのコピー

コマンドの設定

アンインストール

オプションのアンインストール

レジストリの編集

コマンドのアンインストール

ライセンス

パッケージの保存

システム要件

対象シンクライアントのシステム要件の指定

プラットフォーム: * Windows 10 IoT Enterprise 2019 LTSC

モデル: * US320g; 追加

ファームウェアバージョン: * 1.0

必要な空き容量 (MB): * 0

バージョン: 1.0.13-NEC
© Atrust Computer Corp. All rights reserved.

前へ 次へ 新規作成 キャンセル

3. インストールオプションを設定します。ここでは[インストール完了後にシステムを再起動する。]と[インストール完了後にライトフィルタを有効化する。]にチェックをつけ、「次へ」ボタンをクリックします。



4. インストール時に編集するレジストリを設定します。本書では[レジストリを編集しない]を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



5. インストール時にコピーするファイルを設定します。本書では何も設定せず「次へ」ボタンをクリックします。

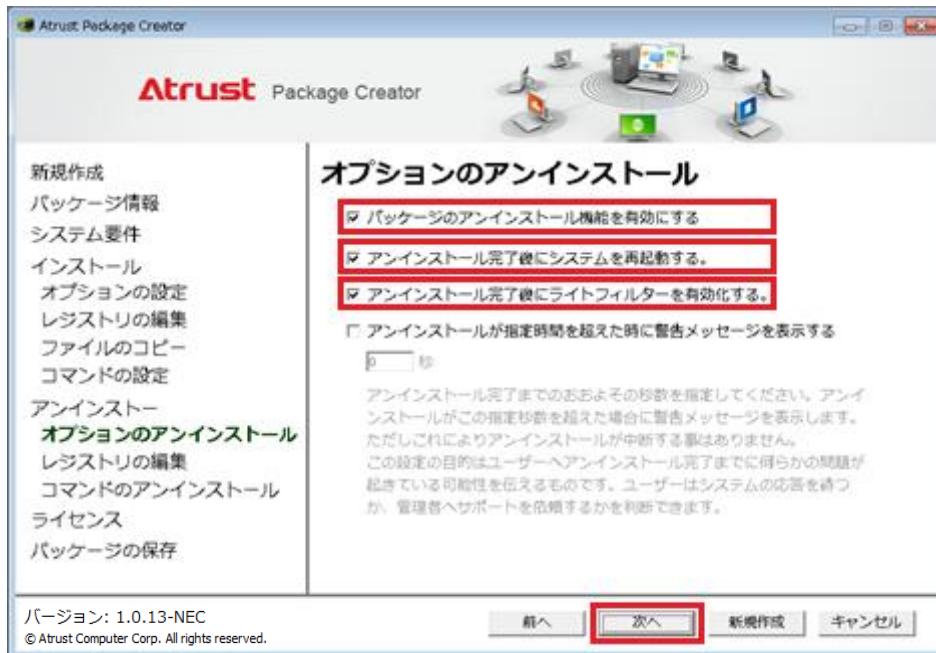


6. インストール時に実行するプログラムを設定します。以下入力後「追加」ボタンをクリックし、一覧に登録します。一覧に登録後、「次へ」ボタンをクリックします。
- [コピーして実行]を選択します。
 - 「参照」ボタンをクリックし、install.msi を選択します。プログラム名に install.msi のファイルパスが入力されます。
 - パラメーターにサイレントインストールのオプションを入力します。ここでは「/quiet」と入力しています。



「参照」ボタンをクリックして表示されるコマンドダイアログでは、既定値で.batと.exeのみ表示されます。.msiを選択するには[All Files(*.*)]を選択します。

7. アンインストールオプションを設定します。本書では[パッケージのアンインストール機能を有効にする]および[アンインストール完了後にシステムを再起動する。]、[アンインストール完了後にライトフィルターを有効化する。]にチェックをつけ、「次へ」ボタンをクリックします。



8. アンインストール時に編集するレジストリを設定します。本書では[レジストリを編集しない]を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



9. アンインストール時に実行するプログラムまたはコマンドを設定します。以下入力後「追加」ボタンをクリックし、一覧に登録します。一覧に登録後、「次へ」ボタンをクリックします。

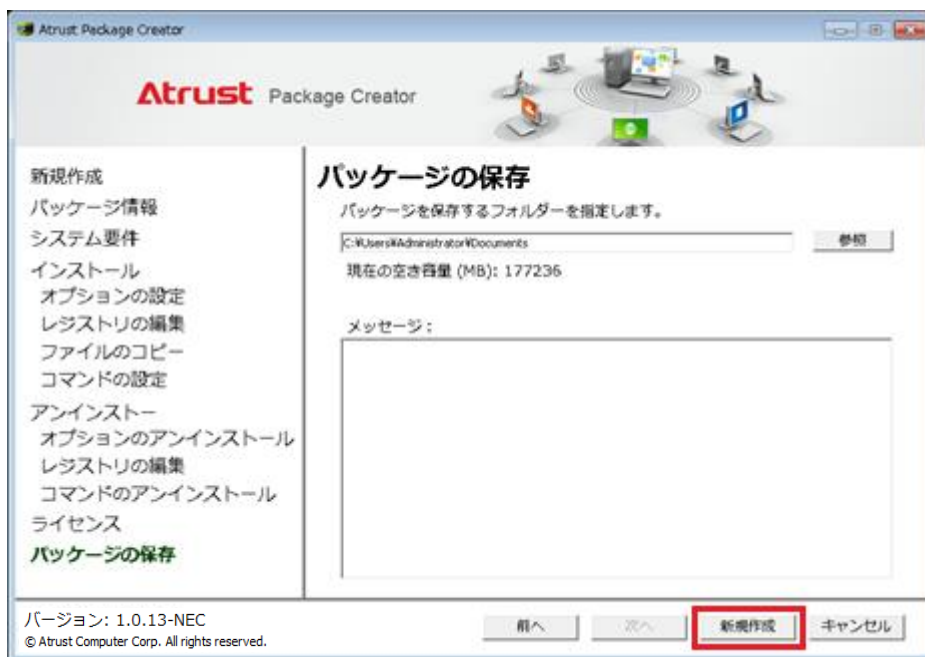
- [コピーして実行]を選択します。
- 「参照」ボタンをクリックし、install.msi を選択します。プログラム名に install.msi のファイルパスが入力されます。
- パラメーターにサイレントアンインストールのオプションを入力します。本書では「/uninstall /quiet」と入力しています。



10. ライセンス条項を記載したテキストファイルを設定します。本書では何も設定せず「次へ」ボタンをクリックします。

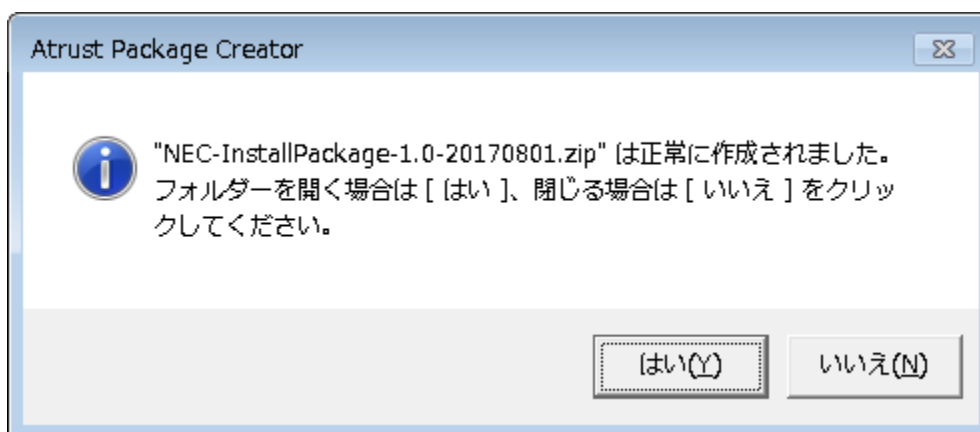


11. パッケージファイルの保存先を設定します。「新規作成」ボタンをクリックし、パッケージの作成を開始します。



12. パッケージ作成完了後、以下の確認ダイアログが表示されます。

パッケージの保存先を表示するには「はい」ボタンをクリックします。元画面の「キャンセル」ボタンをクリックし、Atrust Package Creator を終了します。



以上でパッケージ作成が完了になります。Atrust Device Manager(ADM)にパッケージを登録し、必要なシンクライアント端末へ配信してください。

第 4 章. 注意事項

この章は、Atrust Package Creator の注意事項を記載しています。

4.1 注意事項

Atrust Package Creator 使用時の注意事項

4.1. 注意事項

1. Atrust Package Creator はあらゆるプログラムのパッケージ作成および配信を保証するものではありません。作成したパッケージについては、初めに 1 台のシンクライアント端末に配信し、問題ないことを確認した上で、複数台のシンクライアント端末へ配信してください。
2. パッケージ配信でのコマンドやモジュールの実行は、System(ローカルシステム)アカウントで実行されます。
3. パッケージ名には、英数文字と “-” , “_” を設定可能です。その他の文字がパッケージ名に含まれる場合、作成したパッケージを Atrust Device Manager(ADM)にインポートできない場合があります。
4. パッケージ名と発行者には 2 バイト文字を設定できません。パッケージ作成時にエラーになります。
5. HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE および HKEY_CURRENT_USER 配下のレジストリキーを削除できません。レジストリキーに含まれる値は削除可能です。
6. パッケージ作成時「[ERROR] "" is missing」が表示され、パッケージ作成が失敗した場合、パッケージ内で不整合が発生している可能性がございます。お手数ですが一旦全てを終了し、再度新規パッケージ作成の実施をお願いします。
7. [ファイルのコピー]画面の[配置先]には、全角文字を含むパスを設定しないでください。シンクライアント端末へのファイルコピーが実行されません。
8. US320g でレジストリ編集を実行するパッケージの作成には、[レジストリファイル(.reg)でレジストリをインポートする]を選択ください。[手動でレジストリを追加/編集する]はご利用になれません。[手動でレジストリを追加/編集する]を利用したパッケージは、配信先の US320g でエラーが発生し、パッケージを正常に適用できません。US320f および US310e のパッケージ作成では、[手動でレジストリを追加/編集する]をご利用いただけます。
9. HKEY_CURRENT_USER(あるいは HKEY_USERS)配下のレジストリ設定は、パッケージのインストールやアンインストールのタイミングでログインしているアカウントにのみ反映されます。
以下のような状況では HKEY_CURRENT_USER(あるいは HKEY_USERS)配下のレジストリ設定は反映されません。
 - ・ サインアウトした状態のシンクライアント端末への適用
 - ・ ドメインへの加入など、Wake on LAN での起動後に自動ログインしないシンクライアント端末への適用
 - ・ 特定のアカウントで自動ログインするが、他のアカウントと共用で運用するシンクライアント端末への適用HKEY_CURRENT_USER(あるいは HKEY_USERS)以外のレジストリ設定やコマンドの実行には影響はありません。

4.2. 使用 OSS について

Atrust Package Creator では「7-zip」を使用します。

Copyright (c) 2015-2016, Apple Inc. All rights reserved.

7-zip に関するライセンス条項は、以下を参照ください。

GNU Lesser General Public License v2.1 以降

<http://www.gnu.org/licenses/lgpl-3.0.html>

The "BSD 3-clause License" is used for the code in 7z.dll that implements LZFSE data decompression. That code was derived from the code in the "LZFSE compression library" developed by Apple Inc, that also uses the "BSD 3-clause License":

Copyright (c) 2015-2016, Apple Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer
in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the copyright holder(s) nor the names of any contributors may be used to endorse or promote products derived
from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE

COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES
(INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Atrust Package Creator v1.0.13

ユーザーズガイド

2021 年 7 月 2 版

日 本 電 気 株 式 会 社

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号

© NEC Corporation 2021

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。